

秋季彼岸会

本年も、秋季彼岸会が厳修されました。年々お集りいただく会員様も増えて、より盛大な法要になっております。

暑さ寒さも彼岸までというように、だいたいこの時期を境に夏の暑さも落ち着いてくるわけですが、今年の秋季彼岸会は大変暑さの残る中での開催になりました。気象庁の発表によると今年の秋は、全体的にあたたかい日が、多くなるようです。天気予報でもラニーニヤ現象という聞きなじみのない言葉がおどりと、夏は、猛暑。冬は、厳寒になるようで地球規模での自然界の変化を感じてしまいます。変化を受け入れるのは大変ですが、心の持ち方で穏やかな日々を過ごすしたいものです。法要では、読経の後、導師様に「法話いただきました。」「忙しい」という言葉を普段私たちは、何気なく使ってしまうのですが、この言葉を自慢げに、また言い訳に使っていませんか。

「忙」という字は、「心」が「亡」になると書きます。

その「心」を「亡」の下にもつてくると「忘」の字になります。問題は「忙しいかどうか」ではなく「気があるかかないか」の違いです。

「忙しい」というのは、大事なことを忘れ、ただ走り回るだけということになります。ここでいう大事なことというのが、「手を合わせる」ということです。「手」を「合」わせるで「拾」の字となり、即ち手を合わせる事のできる人にだけ幸せを拾うことができる。というお話をいただきました。日常の「忙しい」に追われる私達ですから、お彼岸の仏教週間だけでも手を合わせて幸せを拾いたいものです。

本年の秋季彼岸会にお集りいただいた会員の皆様誠にありがとうございました。今後とも太陽の会にご指導賜りますようお願い申し上げます。



テレビコマーシャル絶賛放映中!!

太陽の塔テレビコマーシャルが完成、放映中です。映画やドラマでおなじみの女優、藤田弓子さんが出演されています。「ママ友からハカ友へ」というキャッチコピーが使われています。

少々古い情報にはなりますが、平成二十一年に内閣府が六十歳以上の方を対象にした調査で、単身者の六割以上が「孤独死を身近な問題」と感じていることがあきらかになり、加速する高齢社会の一人暮らしの問題点が浮き彫りになりました。家族や親族も離れた状況において、同じお墓や、納骨壇、樹木葬で埋葬される人同士を「ハカ友」と呼ぶのです。

こうした場所でのコミュニケーションが大切にされています。



リオ五輪を終えて

南米初開催となるリオデジヤネイロ五輪は、八月五日（日本時間六日）から十七日間にわたって二十八人の競技、三百六種目で繰り広げられました。開会式の中では、日本の広島原爆投下された時間に合わせてブラジルの日系移民の方がパフォーマンスするなどブラジルと日本の絆が垣間見れました。ブラジルは、世界最大の日系人移住地であり、一九〇八年（明治四十一年）以降の約一〇〇年間で十三万人の日本人がブラジルに移住したと言われています。その影響があつてか日本人選手団にも現地の観客からの暖かい応援も多かったようです。それが、今回の四十一個ものメダルにつながったのかもしれないかもしれません。一人一人の選手の力の源が家族だったり、両親だったり支えてくれた方への感謝が試合後のコメントに多くありました。オリンピックを通じて人と人との支えあう力の強さ、絆が改めて大切なことだと実感しました。四年後の東京五輪では、どんな感動がまつているか楽しみです。

「貸し」「借り」

私たちがこの世に生きているということ、先祖や社会、そして多くの動物、植物にまでもはかりきれない「借り」をつくつていくということであり、生かされて生きているのです。いうまでもなく「借り」は必ず返さなくてはなりません。いわゆる借りっぱなしは心苦しいことで、人の道にも反することになります。

私自身も昔知り合いの社長さんに借りはいつか返さないといけないということをよく言われました。今思い返すも「借り」をつくつたまま返せていないと思うことばかりですが、すぐには難しいことも少しずつでも返していく努力が必要が必要です。

先祖や社会に対して「借り」を返すことを「報恩」といい、恩に報い先祖供養のために法事を営み、お墓などを造立するのも「報恩」の行であり「お返し」の一つです。だからこそ、法事を終えたり、お墓や納骨壇などを建立した施主の方々が「これで肩の荷がおり



ました」とおっしゃるのです。まさにそれは、借金を返した時のような晴れやかな気持ちと相通するものがあるからでしょう。たしかに「借り」をつくることは重荷です。少しでも「借り」を減らし「貸し」をつくるようにつとめたいのですが、なかなかそのようにはいきません。よく言う徳の高そうの人というのは、その「貸し」が多い人というのだと思います。

親鸞聖人の師である法然上人は、「南無阿弥陀佛とお唱えすれば、自分の犯してきた罪障は、雪の如く消えてしまう。」とお念仏の功德を説かれました。お念仏の生活をして「借り」つばなしの日々を反省しなければいけません。

終わりに、私達がお唱えしております四弘誓願の第一にあります「生命あるもの限りなければ誓って救わんことを願う」という意味の経文と「生かされている自分を感謝し報恩の行を積みましよう」という生活信条を皆様と共にお唱えしたいと思います。

合掌

正念の徳・得コーナー

トクトク

▽仏前でリンを打つ理由

仏前に参つてきた人はまずお仏壇の前で合掌礼拝します。そこまではいいのですが、無造作にバチをとり、リンを何回も打つ。一人がそうすると、次の人そのまた次の人もそれをはじめると仏前は騒然としてしまいます。リンは、読経の前後や中間に定められた作法で打ち鳴らす仏具です。したがっておつとめの時以外は、むやみに打ち鳴らしてはならないものなのです。カネを打つ、というのは、釈尊がご在の頃から、釈尊の説法を聞くときの合図だったと言われます。現在一般のご家庭の仏壇の前は、リンだけですが、お寺では、おつとめの作法に用いる鐘や太鼓、梵鐘や喚鐘などがあり、いずれも行事の合図に用いられています。お仏壇の前でリンを打つときは、できるだけたくさんで釈尊の説法を聴聞するという気持ちで、家族が顔をそろえたいものです。



太陽の会僧侶 正念

仏教由来の言葉「有頂天」

喜びの頂点にいて、われを忘れて夢中になることを「有頂天」といいます。人によつて喜びのてっぺんには、いろいろ差異があるけれども、それぞれの個人がこれ以上ないという幸福感に浸っている有様をいいます。これは、仏教の宇宙観がもとになっていて、仏教では、天上界を欲界、色界、無色界の三段階にわけて考えています。欲界はまだ欲望を断ち切れない人間を含めて六天、色界は清浄で欲は離れているが、まだ物質にとらわれることのある世界で、十七天、その上に無色界の四天を数え、合わせて三界二十七天に分けられます。このうち、色界の最高を色究竟天といい、色すなわち形体、物質、色界すなわち欲望から離れて清らかな物質や肉体が存在する世界ですが、この天より上は肉体や物質が存在しない無色界になり、形体を有する天処の究める場所であるから色究竟天と呼ばれます。ここを有の頂にある天で「有頂天」といいます。



2016年秋 近隣の紅葉見どころ

★帝釈峡(神龍湖)

広島県神石郡神石高原町

帝釈川と神龍湖からなる帝釈

峡は、石灰石カルスト地形で有名です。湖上の遊覧船から見

る紅葉の紅葉は、ほかにない絶景です。

※例年の見頃 十月下旬～十一月中旬

★宮島 紅葉谷公園

広島県廿日市市

名前の由来通り、弥山のふもとから鮮やかな景色が美しい。イロモミジの少し小ぶりの葉が風にそよぐ美しい光景です。

※例年の見頃 十一月中旬～十二月中旬

★蒜山高原

岡山県真庭市

標高が五百メートルくらいの高原地帯になる蒜山と大山を結ぶ道路、蒜山大山スカイラインは、紅葉を楽しみながらのドライブができる場所です。

※例年の見頃 十月下旬～十一月初旬



これで安心！終活を今日から始める方法

皆さまこんにちは。エンディングノート普及協会代表・日本終活サポート協会理事の赤川なおみです。終活の悩みを解決するための終活講座、終活相談、終活井戸端会議を行っております。

前回の「終活初めの一步」は「終活箱を用意する」でしたが準備はできましたか？今回も終活を今日から始めるためのワンポイントをお伝えします。

○終活箱に入れるメモ

終活を始める場合「エンディングノートを買った方が良いでしょうか？」と質問をいただくことが多いのですが、まずはメモ書きからはじめましょう。メモは、できるだけ一枚に一項ずつ書くようにします。「通帳の置き場所」「連絡する親戚の名前と電話番号」「お寺の宗派と電話番号」など、伝えたいこと気になっていることを書いていきます。そして書いたら終活箱に入れておきます。これならエンディングノートを買わなくても箱の中をみれば、だいたいのことがわか

ります。気軽に書くことができ書き換えて入れ替えるのも簡単です。終活箱にはメモ書き以外にも、介護保険証やマイナンバー関連書類、年金手帳など、もしもの時に返却が可能なものを入れておくのも便利です。バラバラに置いておくと、返却する際に家中を探しまわることとなります。伝えたいことを書いているメモと一緒にしておきましょう。ただし、貴重品や個人情報が入った終活箱は置き場所に気をつけなくてはなりません。

○終活初めの第一歩

今回の第一歩は「通帳と印鑑を確認する」です。通帳は何冊ありますか？残金が少なく使わない通帳は、なるべく解約しましょう。また、通帳と印鑑は合っていますか？もしわからなくなっている場合は、銀行に印鑑を持っていき確認してもらいます。わからなくなった場合は、新しい印鑑で登録しなおしましょう。



★わからないこと、ご自身に必要な就活を見極めたい方は、終活相談会をご活用ください。

「秋まつり」の開催お知らせ

日時 平成28年11月6日(日)

10時から16時

場所 太陽の塔 桜ヶ丘

(太鼓演奏、もみほぐし、占い、屋台など)

※先着70名様にその場で使える五〇〇円券プレゼント。お気軽にお越しください！

平成28年度10月～29年1月の予定

○合同供養祭及び勉強会

開催日 10月15日(土) 10時より

○合同供養祭及び勉強会

開催日 11月19日(土) 10時より

○正忌報恩講合同供養祭

開催日 1月21日(土) 10時より

場所 宗教法人 太陽の会

供養祭

○三原太陽霊園・コスモガーデン三原

開催日 10月22日(土) 10時より

場所 現地霊園